



地域包括支援センターよつや苑だより

令和5年
5月号

お気軽に
お電話
ください



センター長着任のご挨拶

地域包括支援センターよつや苑
センター長 野口 幸



四月から、センター長として着任いたしました野口幸（のぐちゆき）

です。これまで、地域包括支援センターの相談員として勤務しており、地域の皆様にはお世話になっておりました。

高齢者の方の心身の健康を加速度的に低下させてしまった三年間のコロナ禍を、どう脱していくのか：今年度はそんな大きな課題に直面しています。地域包括支援センターよつや苑には、社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、介護支援専門員、介護福祉士など十名の専門職員がいます。地域の皆様が、安心して笑顔で暮らせるよう、尽力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前センター長の小沼敬夫は、居宅介護事業所よつや苑（ケアプランセンター）の責任者として異動しました。

第8期府中市高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画最終年度です

高齢者施策は、介護保険制度施行（2000年）後、定期的な見直しにより3年ごとの事業計画に基づき進められています。近年の計画では、「地域共生社会」実現のため、「支え手」「受け手」の関係を超えて、地域住民の多様な参加によるしくみ創りをめざしています。府中市でも、第8期の最終年度を迎えている計画にある「府中市版地域包括ケアシステム（地域の総合的な支援・サービス提供体制）」の推進に努めていますが、その実現のためには地域の皆様のご協力が必要です。ご自身と、周囲の方がいきいきと暮らすことができるよう、今できることを考え、実行してみませんか。

よつや苑エリアの 地域包括ケアシステム

※府中市版地域包括ケアシステム図を参考にしています

府中の特長1
地域包括支援センターによる介護予防の普及啓発
社会資源の発掘・創設支援

府中の特長2
介護予防推進センター（いきいきプラザ）による高齢者の健康づくり

住吉・分梅・南町
ささえあい協議会

ささえあい四谷

府中の特長3
社会福祉協議会による地域のささえあいのしくみづくり

地域包括支援センター

医療

介護予防

自分のための活動

両方

介護

生活支援
社会参加

誰かのための活動



地域包括支援センターよつや苑 ☎ 042-334-8141

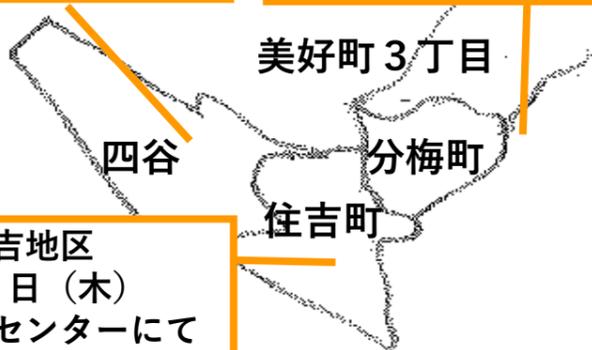
令和4年度は各地域で 地域支援連絡会を開催できました

コロナ禍の三年間、緊急事態宣言やまん延防止期間等の影響で、地域の方とお会いできる機会が思うようにつくれませんでした。

しかし、令和4年度は、年度末になってようやく、よつや苑の相談エリアである地域全てで「地域支援連絡会」が開催できました。自治会役員、民生委員、シニアクラブ役員の方など地域活動の中心となっている皆様に現状を伺い、今後について考え合う機会を持つことができました。

四谷地区
3月9日(木)
四谷文化センターにて

分梅町
美好町3丁目地区
3月17日(金)
片町文化センターにて



住吉地区
3月2日(木)
住吉文化センターにて



自治会役員

集合住宅では、管理組合と一体となって運営されているところが多く、1年ごとに会長が交代するところも多いです。人のつながりとしての自治会活動の意識が薄い状況もあるようです。

自治会員の高齢化、役員の手不足という全国的な課題は、府中にもあてはまる。この3年、コロナ禍でほとんど活動できず、自治会離れが、よりすすんでしまったところもあります。



自治会役員



民生委員

詐欺や強盗などの事件が後を絶たない状況で、救急キットなど府中市からの届け物をする場合も、簡単にはドアを開けてくれない方も多くなっています。直接お渡ししていた敬老祝金も、コロナ禍で振り込みとなり、地域の高齢者の方とも関係も難しくなっています。

公園清掃などの社会活動や、スポーツなど生きがい活動をしていますが、会員の高齢化で、存続自体が難しくなっているクラブもあるようです。



シニアクラブ役員

地域包括支援センターは、地域での様々なつながりをご支援していく役割があります。いろいろと課題は多いですが、多くの皆様の声を伺い、多様なつながりがあることを念頭において、一緒に考えていきたいと思っております。



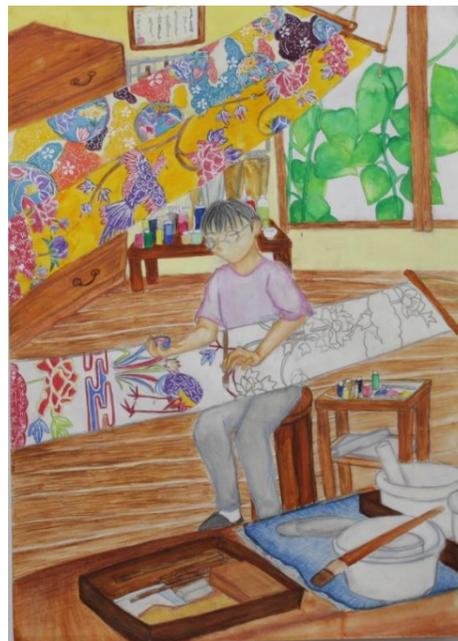
地域包括支援センター
よつや苑職員

MOA美術館児童作品巡回展



コロナ禍で外出がままならない夏休みに描かれた絵は、小さな生き物や大國魂神社など、身近な題材をしっかりと見つめて仕上げられ、心が温かくなりました。

3月によつや苑ロビーにて、恒例となっている巡回展を実施しました。MOA美術館での全国展に連動し、府中市内の子どもたちの268点の作品の中から、各特別賞や金賞受賞作品10点を展示させていただきました。今年も、海外も含む292会場、応募総数18万6954点の中で、府中第三小学校6年生の作品「紅型工房」が銅賞受賞！(右の作品) 昨年は沖縄本土復帰50周年で、繊細なタッチで伝統文化を伝える美しい作品に、立ち止まる方が多かったです。



ひととき

今年は、春の訪れが一段と早く、桜の開花ばかりかチューリップやツツジ、ハナミズキなど花たちが一斉に咲き急いだようです。新緑の季節、世の中はコロナとの共存に舵を切っていますが、まだ各自の判断に悩む方も多いかと思います。高齢者の方をご支援するよつや苑は、未だ自由に苑内にお越しただけでない状況ですが、地域の皆様とのつながり方を、もう一歩進められたらと。世界的にも、日本の中でも、不安定な情勢が続く今ですが、それぞれのペースで、日々の過ごし方、楽しみ方を手さぐりしながら進んでいくしかないのかなと思います。(A. Ohmori)